

■自己評価結果公表シート（平成30年度）学校評価委員会資料 ①幼稚園

1、園の教育目標

- | | |
|-------------------|------------|
| ① よく考え、よくみつめる子ども | 【思考・認識】 |
| ② 自分から進んで創り出す子ども | 【自主・自立・創造】 |
| ③ 辛抱よく、やりとげる子ども | 【忍耐】 |
| ④ 心の美しい、優しい子ども | 【情緒】 |
| ⑤ 友だちと元気に仲よく遊ぶ子ども | 【協調】 |

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの主体的な遊びを育むための環境作り ○幼児理解に努める ○異年齢交流の充実を図る ○教職員の資質向上を目指す |
|---|

3、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
◎職員間で話し合いを重ね、アイデアを出し合い、園内、外に関わらず、子どもの遊びが発展するよう環境を整える。	・職員間の話し合いの時間を多くとり、試行錯誤しながら、さまざまなアイデアや意見から環境設定することができた。今後もより良い環境を設定できるよう、一つひとつ目的やねらいについて話し合いを重ねていく必要がある。
◎園児一人ひとりの様子や、支援の必要な園児へのかかわりについて、職員全体で話し合い、共通理解を深める。	・担任・副担任・フリー・副園長間では、支援の必要な園児に対しての、関わりについて共通理解を深めることができた。今後は、職員全体で共通理解を深めるための工夫が必要である。
◎兄弟学級にかかわらず、異年齢交流ができるよう保育園職員とも連携を取り、交流をさらに充実させる。	・子ども達から意見が出た時に、時期にとらわれず交流できたことは良かった。もっと自然にかかわりが持てるように、交流を充実させる設定をしていく必要がある。

<p>◎園内研修に参加し、自身の保育に役立てるとともに、自らも積極的に保育について研究を行い、園全体の保育の質の向上に努める。</p>	<p>・園内外の研修に積極的に参加し、職員全体の意欲・意識が高まり、自身の保育に役立てることができた。今後もさらに意見交換や意識統一をしていく必要がある。</p>
---	---

◎ 4、の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>B C</p>	<p>幼稚園教育要領改訂に伴い、職員間で話し合いの時間を多くとり試行錯誤しながら取り組んできたが、各目標において、達成されて いると評価した職員と、まだまだ不十分で課題が残ると評価した職員に分かれた結果となった。リーダー、各学年、中堅、新任が、十分に連携し切れていなかった結果であるため、今後取り組むべき課題として設定する。</p>
------------------------------	--

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み状況
<p>○子どもの主体的な遊びを育むための環境作り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報を交換し合い、子どもの興味・関心を意識した環境を整える。 ・子どもの意見に耳を傾け、遊びや学びが発展していくよう必要なヒントを与えたり、追究する面白さを味わえるようにしたりする。

<p>○幼児理解に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの様子や、支援の必要な園児への かかわりについて、職員間で話し合い、理解を深 める。 ・一人ひとりの異なる表現の仕方や、良さを見出す。
<p>○様々な人との交流の充実を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども間で憧れの気持ちを持ったり、刺激し合 つ たりすることで、交友関係を深められるように す ると共に、職員や調理員、地域の人とのかかわ り も持てるよう働きかける。
<p>○教職員の資質向上を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに指導する立場として、自分自身の言動 に気を付けると共に、職員間の輪を大切にしま ながら、保育について議論し、高めあえる関係性 を築くことで、園全体の保育の質の向上に繋げ る。